

浜松市省エネルギー診断モニター事業

事例発表資料 『株式会社八百ひで』

本資料は、登録診断機関が実施した令和6年度補正 地域エネルギー利用最適化・省エネルギー診断拡充事業の報告書（ウォークスルー診断）をもとに作成しています。

1. 事業者の概要



【会社概要】

名称	株式会社八百ひで
設立	平成30年12月
資本金	800万円
事業概要	スーパーマーケット
代表者	代表取締役 高安 秀幸
主要取引先	一般個人 地元飲食店

【省エネ診断受診 事業所概要】

名称(所在地)	生鮮市場八百ひで (浜松市浜名区小松441-1)
従業員	37名 (令和6年11月現在)
事業所の規模	1階建て店舗 延床面積561㎡

2. 省エネ診断を受診したきっかけ



24時間冷凍冷蔵設備を稼働しており、
年々増える電気代の削減をたく
電気使用量の見える化をしたかった。

今まで脱炭素の取り組みについて何から着手すれば良いのか分からなかったもので、
まずは、自社の電気使用量の見える化から始めたいと思い、診断を受けることに
しました。

3. 省エネ診断の結果概要

① エネルギー削減ポテンシャルについて

診断の結果、原油換算で22.1kL(16.7%減)、CO2換算で48.5t-CO2(16.7%減)、金額で約267万円のエネルギー削減ポテンシャルがあることが分かりました。

【省エネポテンシャル】

(地域エネルギー利用最適化・省エネルギー診断拡充事業 報告書P.6 より)

現状の原油換算値	運用改善	設備投資	原油削減量合計	改善後の原油換算値
132.4 kl	3.5 kl	18.6 kl	22.1 kl	110.4 kl
現状のCO2排出量	運用改善	設備投資	CO2削減量合計	改善後のCO2排出量
291.1 t-CO2	7.7 t-CO2	40.8 t-CO2	48.5 t-CO2	242.6 t-CO2

3. 省エネ診断の結果概要

② 提案：冷凍冷蔵設備のフィルター定期清掃

【ショーケースの吸込部】



ショーケース下部の吸込部にホコリ等の汚れが溜まっていた。店舗内のショーケースを定期清掃することで、大幅な電力削減に繋がることが分かりました。

【実施した場合の削減量】

投資金額：0 千円

省エネルギー量：14,891.9 kWh

削減金額：400.6 千円/年 **投資回収：0 年**

原油換算量：3.3 kL

CO2削減量：7.3 t-CO2

3. 省エネ診断の結果概要

③ 提案：空調設備の設定温度適正化

【作業場の空調】



一般的に、空調の設定温度を1℃緩和すると、約10%の省エネ効果が期待できます。

4つある作業場の冷房温度を1℃上げて設定することで、電力削減に繋がることが分かりました。

【実施した場合の削減量】

投資金額：0 千円

省エネルギー量：689 kWh

削減金額：18.5 千円/年 **投資回収：0 年**

原油換算量：0.15 kL

CO2削減量：0.34 t-CO2

4. 今後の省エネ化（脱炭素化）に向けて

今回の省エネ診断を受けて

現在使用している冷凍冷蔵設備は設置より10年以上経過していました。最新設備は既存の設備と比較し、エネルギー効率が高くなっており、既設の設備から最新の設備に更新することにより、18.3%の省エネ効果が期待されることが分かりました。稼働時間1日24時間（30日/月、12ヶ月）と仮定した場合、
現状の冷凍冷蔵設備の消費電力329,346kWh×省エネ効果18.3%=49,402kWh
既設の冷凍冷蔵設備を全て最新機器に更新することで年間49,402kWh（費用削減額2,138千円/年）の電力削減に繋がることが分かりました。

今後の省エネ化や脱炭素化に向けた意気込み

（もしくは、これから省エネ診断の受診を考えている事業者に一言）

省エネについて何も知らないところから今回の診断を受けた結果、現状分析、何をどう変えるか、設備更新後の効果等すべて見える化することができました。今回の結果をもとに設備更新をし、省エネ化を進めていきます。

